

令和8年度 中学1年 シラバス

□科目	技術・家庭（技術）			
□授業時数	技術 1時間/週			
□教材	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて(開隆堂)			
□学習到達目標	『材料と加工の技術』『生物育成の技術』『エネルギー変換の技術』『情報の技術』の4つの技術について学習し、実践的・体験的な活動を通して技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めることができるようにする。そして技術に関わる問題を見いだして解決する力や実践的な態度を身に付け、よりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを目指す。			
□成績評価基準	1学期末・2学期末・3学期末の定期テスト、実習における製作物、平常点(授業態度、ノートや課題の提出状況)			
□授業計画	月	単元・項目	内 容	備 考
	4月	オリエンテーション	◎ 1年間の授業内容の説明 ○材料と加工 ○エネルギー変換 ○生物育成 ○情報	場所：教室
		情報 コンピュータの基礎	◎ コンピュータ活用の基礎知識 ①コンピュータの構成 ・ハードウェア ・ソフトウェア ②情報技術の発達 ・コンピュータの発達 ・情報通信ネットワークと情報社会	場所：教室
	5月		③情報の発信と利用 ・情報発信者としての責任 ・公開されている情報の利用 ・情報社会における権利や法令 ④情報社会における危機管理 ・情報を守るために ・危険を避けるために	授業ノート提出
		コンピュータ実習	◎ タイピングの練習(実習予定時間：2時間) ○ホームポジションの理解	場所：コンピュータ室
	6月	材料と加工 製図	◎ 製作に必要な図 ○設計 ◇製作品の構想 ・製図 ・部品表の作成 ・工程表の作成 ◇図の種類 (1)キャビネット図 (2)等角図 (3)正投影図 ◇製図の描き方ときまり (1)線の種類 (2)用途別の名称 (3)寸法の記入 (4)寸法補助記号 (5)尺度 (6)製図用紙の大きさ	場所：教室 動画配信 (製図の描き方) 製図課題提出
	7月			定期テスト① 授業ノート提出
	9月	木材加工実習	◎ 折り畳み椅子の製作(実習予定時間：12時間) ①材料取り ・けがき ・切断	場所：技術室 動画配信 (製作工程と使用工具) (折り畳み椅子の製作)

令和8年度 中学1年 シラバス

□授業計画	月	単 元・項 目	内 容	備 考
	10月		②部品加工 ・やすりがけ ・穴あけ ③組み立て ・仮組立 ・接合部のけがき	
	11月		・下穴あけ ・組立 ④仕上げ ・表面処理 ⑤完成 ・完成作品の提出・検査	作品の未完成者に対し補習
	12月			定期テスト② 授業ノート提出
	1月	金属加工実習	◎ 文鎮の製作(実習予定時間：5時間) ①けがき ②部品加工 ・穴あけ ・ねじ切り ・切削	場所：技術室 動画配信 (材料の性質と特徴)
	2月		③研磨 ・耐水ペーパー ・研磨剤 ④完成 ・完成作品の提出・検査	作品の未完成者に対し補習
	3月			定期テスト③ 授業ノート提出

令和8年度 中学1年 シラバス

□科目	技術家庭 (家庭)			
□授業時数	家庭 1時間/週			
□教材	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生 (開隆堂)			
□学習到達目標	住まいの基本的な役割と特徴を知り、災害に備えた住まいや防災用の備蓄品について考え準備できるようにする。食生活における基礎的な知識と技術を習得し、よりよい食生活を送ることができるようにする。			
□成績評価基準	定期テスト, ワークノート, 平常点(提出物, 授業態度, 忘れ物)			
□授業計画	月	単元・項目	内 容	備 考
	4月	オリエンテーション B 住生活 3. 自然とともにある住生活 4. 安全で健康的な住生活	授業内容の説明 日本の気候風土と住まい 家庭内事故への備え 室内環境を健康に保つ	場所:教室
	5月	5. 持続可能な住生活	災害に備えた空間 未来を見据えた住まい方	場所:教室
	6月	1. 人間にとっての住まい 2. 生活に必要な住空間	人間の生活を支える住まい 防災食の試食 生活行為と空間 家族の変化と心地よい空間の使い方	場所:教室
	7月			定期テスト①
	9月	B 食生活 1. 人間にとっての食事 2. 食品と栄養素	食事の役割 健康によい食習慣 栄養素の働きと6つの基礎食品群	場所:教室

令和8年度 中学1年 シラバス

□授業計画	月	単 元・項 目	内 容	備 考
	10月	3. 中学生に必要な食事	中学生の発達と必要な栄養 栄養バランスを考える	場所:教室
	11月	4. 日常食の調理と地域の食文化	さまざまな食品と調理のポイント 調理実習	場所:教室 調理実習 場所:家庭科室
	12月			定期テスト②
	1月		食品の選択と保存 受け継がれてきた食文化	場所:教室
	2月	5. 持続可能な食生活	持続可能な食生活を目指して	場所:教室 定期テスト③
	3月			